

宣 言

日本の社會的、思想的、經濟的不安のドン底に於て日本勞働總同盟九州聯合會第六回年次大會は次の如く宣言する。

愈々激化されて行く資本主義經濟の本質的矛盾と不合理は遂に資本主義社會の根底を動搖させ、露骨に、資本主義の没落破産を明確にした。資本家階級はその最後の延命策として最悪の勞働條件を強制し、失業群の氾濫する街頭へ更に多くの勞働階級を追放し以て只だ一途に勞働階級の犠牲と迫害に依つてのみ資本主義破綻の修正、再建を陰謀して勞働階級の受難は加重する。資本家階級は勞働者の生活權を提げて堂々と戦ふ勞働組合を極度に恐怖しその金力と權力を總動員して勞働組合の破壊と壓殺に狂暴の限りを盡すは明白である來るべき年の我等の戦線こそ益々多難多端にして薊と受難の峻路に愈々激烈なる惡戰苦闘が續けられるであろう。

資本主義の最後の行き詰りに於ける國際的國家主義經濟の對立は内に於ては勞働階級の敵首、賃金値下げ、勞働の強化に依つて勞働階級を生命の窮地に追ひこむと共に外に於てはダンピングに依る新市場の争奪、並に新植民地の獲得に狂奔し國際經濟戦争が必然的に世界武力戦争へ激發する危機が急迫して、勞働階級の犠牲と受難は急角度に加重する。

かゝる情勢下に於て確實なる勞働組合主義の旗の下に組織勞働者三十萬を擁する日本勞働組合會議の實力と信頼を通じて勞働階級を辛うじて守衛する自信を持ち得たが勞働階級の生活の前途には尙深刻なる不安と苦難が重々しく横たわつてゐる。わが九州聯合會は確實なる總同盟精神に則し九州の戦野に毅然として確實なる勞働組合主義の大旗を高揚し理解ある進歩的資本家に對しては確實なる勞働組合として産業に對する協力を貢ひ頑迷にして無理